



写真左から：大阪市立大学生によるがれきの撤去、被災直後の福島県立医科大学、いわて GINGA-NET プロジェクトによる仮設住宅訪問、同・仮設住宅でのサロン活動

震災復興と これからの大学教育の姿

特別講演

山折 哲雄 氏 (宗教学者)

震災復興支援学生ボランティア活動報告

公立大学の学生連携の取組み 他

パネルディスカッション

「震災復興とこれからの大学教育の姿」



2011年11月10日(木) 14:00～17:30

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪) 3F イベントホールA

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 5 丁目 3 - 51 TEL 06-4803-5555

京阪電車中之島線 中之島(大阪国際会議場)駅(2番出口) すぐ

JR環状線 福島駅 徒歩10分

JR東西線 新福島駅(2番・3番出口) 徒歩10分

阪神電鉄 福島駅(3番出口) 徒歩10分

地下鉄 阿波座駅(中央線1号出口・千日前線9号出口) 徒歩10分

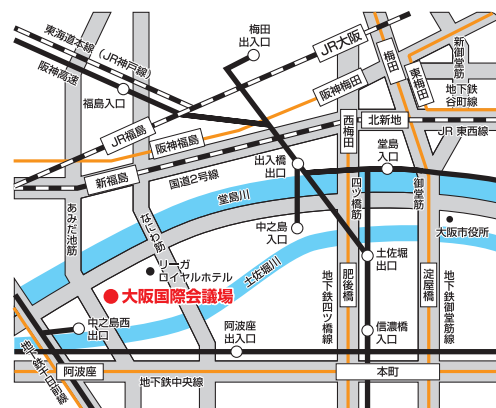
定員：300名 (参加費無料・定員になり次第申し込みを締め切ります)

申込：お名前・ご所属をメールにてご連絡ください

jimu@kodaikyo.jp

メールタイトルに「シンポジウム申込」とご記入ください。

問合せ：公立大学協会 TEL03-3501-3336



開催趣旨：

東日本大震災とその後の復興活動は、学術研究の目指す方向、学生の学びのあり方など、大学教育の現場にも大きな影響を与えています。公立大学はこれまでも地域の知の拠点として確かな役割を果たして来ましたが、これからの大学教育がどこに向かうのか、大学の果たすべき役割を再確認しながら、全国の公立大学長が大学教育関係者、学生、市民の皆さんと共に考えます。

パネルディスカッションに先立ち、特別講演として宗教学者の山折哲雄氏より震災後に生きる私たちの価値観のありようについてお話いただくと同時に、学生からは震災復興ボランティア活動についての報告を行います。

プログラム：

開会挨拶 奥野 武俊 公立大学協会会長（大阪府立大学長）

特別講演 山折 哲雄 氏「絆～いま、生きるあなたへ」（近著タイトルによる仮題）

（講師紹介）1931年アメリカ生まれ。1954年東北大学インド哲学科卒。東北大学助教授、国立歴史民俗博物館教授等を経て、88年より国際日本文化研究センター教授、同センター所長などを歴任。難しいテーマを分かりやすく、かつ独特な視点から論ずるユニークな宗教学者。2010年、南方熊楠賞受賞。

震災復興支援学生ボランティア活動報告

学生が連携して取組んだ支援活動について、岩手県立大学、愛知県立大学、大阪府立大学、大阪市立大学、兵庫県立大学の学生がリレー形式で報告します。（参加大学等は変更になる場合があります）

パネルディスカッション「震災復興とこれからの大学教育の姿」

復興支援活動に参加した学生を対象に行ったアンケート結果から、復興支援活動を通して学生たちがどのような課題を発見し学びの意識や生きる姿勢を変化させたかを明らかにし、そこから引き出しうる大学教育の課題を考えます。

- パネリスト：**西澤 良記 大阪市立大学長
清原 正義 兵庫県立大学長
近藤 倫明 北九州市立大学長
佐々木民夫 岩手県立大学副学長〔福島県立医科大学・宮城大学・岩手県立大学における活動報告〕
竹内 正吉 大阪府立大学副学長・学生センター長〔学生アンケートの結果報告〕
- モデレータ：**佐々木雄太 愛知県立大学長

公立大学連携の復興支援の取組み（学生ボランティア活動報告資料より）

いわて GINGA-NET プロジェクト



活動期間：7月27日(水)～9月27日(火)の9週間
参加規模：1週間単位で毎週100～150名、合計1,300名
活動地域：大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市ほか
活動内容：仮設住宅でのサロン活動、子ども向けの学習支援、遊び支援、お祭り等地域行事の開催支援等
実施主体：いわて GINGA-NET プロジェクト実行委員会
・岩手県立大学学生ボランティアセンター
〔プログラム開発、マッチング〕
・ユースビジョン、さくらネット
〔大学等へのよびかけ、資金調達〕

支援：公立大学協会

後援：文部科学省（申請中）

参加：青森県立保健大学、静岡県立大学、愛知県立大学、愛知県立芸術大学、三重県立看護大学、大阪府立大学、大阪市立大学、神戸市看護大学、島根県立大学、山口県立大学（以上、大学単位で参加した公立大学。他に大学・個人単位で多くの国公立大から参加）

宮城大学・兵庫県立大学連携ボランティア派遣



派遣日程：第1次 5月20日～23日
第2次 7月1日～4日
第3次 9月12日～15日

派遣被災地：宮城県石巻市内（1次、2次）南三陸町（3次）
活動内容：がれき撤去、側溝の泥出し（1次、2次）
仮設住宅傾聴ボランティア（3次）

参加人数：1次～3次 計120名程度

